

## 第57回藤野地区まちづくり会議（全体会）開催結果

日 時 平成30年5月25日（金） 19:00～21:00  
場 所 藤野総合事務所4階会議室  
出席委員数 21名出席（3名欠席）  
傍 聴 者 0名

1 開 会 石橋副代表

2 挨 拶 森川代表  
鈴木緑区副区長

3 自己紹介  
委員改選後、第1回目の開催であることから、各委員より自己紹介を行った。

4 まちづくり会議について  
事務局より、資料に基づき、まちづくり会議の目的や運営ルール、区民会議との関係等について説明を行った。

5 議 題

（1）代表、副代表の選出について

会則第5条及び第7条により、代表1名、副代表2名を互選により選出し、次のとおり承認された。

- ・代 表 森川哲郎（藤野地区自治会連合会 会長）
- ・副代表 小山秀文（藤野商工会 副会長）
- ・副代表 石橋了知（公募委員）

（2）各部会員の選出について

昨年度に引き続き、「子育て部会」及び「環境部会」を設置することとし、各部会員を選出した。

（3）区民会議委員の選出について

代表、副代表の中から、森川代表と小山副代表が選出され、承認された。

（4）本年度スケジュールについて

事務局より、資料に基づき本年度のスケジュールを説明した。

（5）まちづくり懇談会について

事務局より、懇談会の日程及び概要について説明した。

6 次期総合計画及び都市計画マスタープランの策定に向けた検討について

企画政策課及び都市計画課、緑区役所区政策課の担当者より資料に基づき説明の後、4グルー

プに分かれて地区の良くなったところ、悪くなったところについて意見交換を行い、結果を発表した。

主な意見は次のとおり

#### 【良くなったところ】

- ・国道が拡幅され歩道ができた箇所もあり、良くなった。
- ・浄化槽等の完備により、川の水質が良くなった。
- ・防犯灯のLED化で明るくなり、安心できる環境となった。
- ・登山客が増加しており、山道も整備された。
- ・最近若者の活動が増えており、閉鎖的ではなく地域の人が好意的である。
- ・公民館活動が活発になった。
- ・高齢者及び障がい者福祉が充実してきている。
- ・藤野の特色を活かした体験ツアーが盛況になった。
- ・トランジション藤野やパーマカルチャー運動等、持続可能な社会をつくる活動が活発に展開されるようになった。
- ・防犯カメラの設置により、不法投棄が減った。

#### 【悪くなったところ】

- ・道路全般の補修が減り荒れたところが多い。
- ・道路の整備状況の改善が進んでいない。
- ・遊休畑が増加しており、鳥獣やヒルの被害の増加へとつながっている。
- ・移住希望者は増加しているが、貸家が少ない。
- ・空き家が増えており、防犯上の危険やハチの被害、さらには景観を損なう問題が増えてきている。また、地区によっては新築許可が下りにくい場所が多数あり、建て替えたくてもできない状況が発生している。
- ・後継者がなく、事業を継続できなくなっている。
- ・除雪、除草対策について市の対応が悪くなった。
- ・高木が多く伐採など作業が少ないため、危険な箇所が増えている。
- ・防犯カメラの設置が少なく、対応も遅い。

6 閉 会 小山副代表

以 上